

# よこすか E C O 通信



第11号(平成25年12月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

## 地産地消のメリット

地域で生産した農水産物を地域で消費する「地産地消」という言葉、最近ではよく耳にするようになりました。地産地消がひろがると、私たちは旬で新鮮なものを買うことができます。その他にも、地域の特産品への理解が深まったり、買い物を通して地元農水産業の応援ができます。このように、地域にたくさんのメリットをもたらす、この地産地消、実は環境にとっても、メリットがあるのです。

## 環境にもやさしい地産地消

私たちの日々の食卓には、地域の外からきた食品がたくさん並んでいます。国内の異なる地域からはもちろんのこと、海外から輸入された農水産物もたくさんあります。日本の国で考えたとき、食糧自給率は39%\*しかありません。

地域の外の農水産物は、当然、ある一定の距離を移動して私たちの地域へ運ばれてきます。運ぶ手段はトラックや鉄道、船や飛行機など様々ですが、どれも燃料が必要です。つまり、輸送には二酸化炭素が排出されることになります。二酸化炭素は温室効果ガスの一つとして、地球温暖化にも影響していると考えられています。今、私たちがいろいろな地域のいろいろな食品を消費していることが、実は地球温暖化にもつながっているのではないのでしょうか。

目安の一つに「フードマイレージ」があります。これは（輸送する食品の重さ）×（移動距離）＝「t・km」で表し、値が大きいほどたくさんの二酸化炭素が排出されていることになります。このフードマイレージができるだけ小さくなるように買い物ができると、環境にもやさしいことになります。地産地消は、移動距離が短いのでフードマイレージの値も小さくなり、環境にやさしい取り組みです。環境にも地域にもやさしい地産地消が、これからも広がっていくといいですね。



\*農林水産省「日本の食糧自給率」平成24年度のカロリーベースの値。 [http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu\\_ritu/012.html](http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012.html)

(参考) 横須賀市HP「地産地消」 <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4440/agli/index.html>

裏面には季節の生き物図鑑「横須賀に運ばれた昆虫」の掲載があります。

# 冬の環境学習講座などのお知らせ

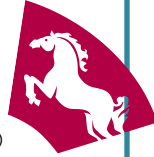
## 横須賀市自然・人文博物館

### トピックス展示「ウマ・馬・牛・干支展」

新年の干支にちなんで展示を行います。

日 時 12月7日(土) から平成26年2月2日(日)

場 所 横須賀市自然・人文博物館 トピックス展示コーナー



### 「身近な野鳥の観察」

日 時 平成26年3月29日(土) 9:00~12:00

場 所 光の丘~長沢

内 容 通年見られる鳥や冬の渡り鳥など、身近な野鳥の観察。

定 員 25名

締 切 平成26年3月15日(土)

### 「海藻入門」

日 時 平成26年3月30日(日) 10:00~15:00

場 所 天神島臨海自然教育園

内 容 三浦半島沿岸の海藻を観察し、海藻押し葉を作成。

定 員 20名

締 切 平成26年3月15日(土)

申 込 希望者は、往復はがきに行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に、ご自分の住所・氏名を復信宛名面に記入し、博物館へ。希望者多数の場合、市内在住者を優先。野外の催しは保険料50円が必要です。

問合先 横須賀市自然・人文博物館  
〒238-0016 横須賀市深田台95  
電話824-3688

## コミュニティセンター



### 「三浦半島の食材を美味しくムダなく！」

日 時 3月5日(水) 10:00~14:00

場 所 浦賀コミュニティセンター 調理講習室

講 師 高橋 久枝 氏、吉田 和子 氏

(ふるさと生活技術指導士)

内 容 三浦半島でとれる魚やわかめ、大根を無駄なく使って、おいしい料理を作ります。

【メニュー：魚のハンバーグ、生わかめのメカブから先端まで使った3品、大根まるごと1本使った3品】

定 員 20名(抽選)

費 用 材料費500円

締 切 2月23日(日)

申 込 講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入して、往復はがき・E-mail・窓口(返信用はがきを持参)へ

問合先 浦賀コミュニティセンター

〒239-0822 浦賀5-1-2 電話841-4184  
E-mail [urph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:urph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp)

## 「継承の森」イベント

### 田浦の自然観察とバードウォッチング

日 時 平成26年1月25日(土) 9:00~12:00

場 所 田浦梅の里(横須賀基督教社会館前集合)

講 師 鈴木 茂也 氏

(日本野鳥の会神奈川支部長、三浦半島自然保護の会会長)

内 容 田浦梅の里での観察会 \*山坂多く健脚の方向け

定 員 20人(中学生以上)

申 込 参加人数、代表者の〒・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・イベント名 を書いて、はがき・FAX・E-mail・電話のいずれかで申込

締 切 平成26年1月15日(水)

問合先 横須賀市環境企画課みどり計画担当

〒238-8550小川町11

電話822-8331 FAX821-1523

E-mail [np-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:np-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)



## 市民協働推進補助金対象事業

### 横須賀の湧き水めぐり

◎第1回 逸見・池上・平作コース

日 時 平成26年1月25日(土) 9:30~15:00

場 所 逸見駅集合、衣笠駅解散

◎第2回 馬堀・観音崎コース

日 時 平成26年2月22日(土) 9:30~15:00

場 所 馬堀海岸駅集合、観音崎バス停解散

◎第3回 久里浜・岩戸コース

日 時 平成26年3月22日(土) 9:30~15:00

場 所 京急久里浜駅集合、北久里浜駅解散

定 員 各回20人(3回とも参加可能の人を優先。抽選あり)

持ち物 お弁当、飲み物、雨具、履きなれた靴

申 込 住所・氏名・性別・年齢・電話番号・3回の参加可否(参加希望回)を書いて、電話・FAX・E-mailのいずれかで申込

締 切 平成26年1月15日(水)

問合先 横須賀「水と環境」研究会

電話090-5499-0831 FAX835-2933

E-mail [hirojit@jcom.home.ne.jp](mailto:hirojit@jcom.home.ne.jp)

## 環境ポスターコンクール入賞作品展

日 時 ①2月1日(土) 13:00~17:00

(ヨコスカ・ベイサイド・ポケット)

②2月24日(月)~2月28日(金)

(市役所1階展示コーナー)

\*その他、協賛企業店舗等の巡回を予定

問合先 横須賀市環境企画課総務担当

電話822-8327 FAX821-1523



## 三浦半島自然ふれあい楽校 2013年度草地・樹林地管理作業

自分たちの地域のホンモノの里山を育てよう! 雨天中止。午前だけ・午後だけの参加も可能です。

| 月  | 日                  | 場所       | 作業内容                   |
|----|--------------------|----------|------------------------|
| 1月 | 10, 15, 20, 25, 30 | 大タブの林周辺  | 照葉樹の間伐、ササ刈り、落ち葉かきなど    |
| 2月 | 5, 10, 15, 20, 25  | カヤ場      | カヤ刈り、チップ化              |
| 3月 | 5, 10, 15, 25, 30  | カヤ場、尾形瀬川 | カヤ刈り、竹林の手入れ、湿地ピオトープづくり |

場 所 湘南国際村めぐりの森入口

時 間 9:30~15:00

持ち物 作業に適した服装、軍手、弁当、飲み物

問合先 三浦半島自然ふれあい楽校

代表 野崎 章子

電話080-5475-1395

E-mail [aki-nozaki@jcom.home.ne.jp](mailto:aki-nozaki@jcom.home.ne.jp)



# よこすか環境フォーラム2014

## With 市民 平和のつどい



**日時：平成26年2月1日（土）13：00開場、13：30開演**  
**会場：ヨコスカ・ベイサイド・ポケット**  
**入場自由・無料**

横須賀市内で活動している活動団体のポスター展示や、子どもたちのステージ発表、横須賀ECO大賞・環境ポスターコンクール・夏休みエコチャレンジの表彰式を行います。横須賀市で行われている環境への取り組みの「今」を体験できます！

今年は「市民平和のつどい」と同時開催して、「平和」の視点から見た環境について、音楽と映像を交えたステージイベントとして「地球のステージ」を開催します。

### ◆ステージプログラム

①表彰式 横須賀ECO大賞、環境ポスターコンクール、夏休みエコチャレンジ



昨年の活動発表の様子

②「発表！私たちのエコ活動」  
市内の環境活動の発表を行います。  
子どもたちの元気な発表もあります！

③市民平和のつどい「地球のステージ」

出演：桑山 紀彦 さん  
音楽と映像、そしてトークを通して、平和について語りかけるステージです。  
精神科医である桑山氏は、これまで世界59カ国を歩き、国際医療救援活動を行ってきました。地球のステージの開催はまもなく3,000回を迎えます。



桑山 紀彦 さん

### ◆フロア展示

- ・「かんきょう展覧会」市内の環境活動の展示ブース
- ・「環境ポスターコンクール」入選作品展
- ・知ってる？フェアトレード
- ・チャレンジ！環境&平和クイズラリー



### 「横須賀ECO大賞」

横須賀市内で行われている優れた環境活動の表彰制度です。ECO大賞をはじめとする各賞の受賞団体を表彰します。

### 「夏休みエコチャレンジ」

7～9月の間に、学校や家庭で節電や省エネに取り組んだ小学校を表彰します。第2回目の今年は、久里浜小・武山小・望洋小の3校が取り組みました。

### 環境ポスターコンクール入賞作品展

小中学生の描いた「環境」を集める環境ポスターコンクールのH25入選作品を展示します。このポスターコンクールは、市内企業の協賛で行っています。

#### 【協賛企業（五十音順）】

イオンリテール(株)久里浜店、ウスイホーム(株)、(株)AFT、(株)クリーンパトロール、京浜急行電鉄(株)、湘南衣笠ゴルフ、NPO法人湘南国際、湘南菱油(株)、電力中央研究所、東京ガスライフバル横須賀、東京電力(株)藤沢支社、東芝ライテック(株)、(株)トライアングル、日産自動車(株)追浜工場、横須賀グリーンゴルフ、(株)横須賀建具アルミセンター、横須賀みかさライオンズクラブ、横須賀モアーズシティ

## お知らせ

### 東京ガス環境おうえん基金

東京ガスのお客様1000万人達成を記念に設立されました。地域に根差した環境活動を応援する助成制度です。

助成の種類：①スタートアップおうえん

新たに取り組みを始める環境活動に対する助成

②パワーアップおうえん

2年以上継続した活動を、さらに発展させる活動に対する助成

助成金額：1活動につき10万円～100万円（総額1000万円）

募集期間：12月1日（日）～平成26年1月15日（水）消印有

交付時期：平成26年4月初旬予定

申込方法：下記HPをご覧ください。

問合せ先 （公財）日本環境協会 東京ガス環境おうえん基金事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16

馬喰町第一ビル9F

電話03-5643-6262 FAX03-5643-6250

[http://www.jeas.or.jp/activ/prom\\_02\\_00.html](http://www.jeas.or.jp/activ/prom_02_00.html)

### （一財）セブンイレブン記念財団公募助成

全国のセブンイレブン店頭募金箱に寄せられた募金で、環境市民活動を支援します。

助成の種類：①地球温暖化対策助成

②活動助成（環境市民活動を支援）

③自立事業助成

④清掃助成

⑤緑化植花助成

助成金額：②総額7000万円（1団体あたり上限なし）

\*①～⑤でそれぞれ異なる

募集期間：12月1日（日）～平成26年1月20日（月）消印有効

交付時期：助成によって平成26年3月末～5月中旬

申込方法：下記HPをご覧ください。

問合せ先 （一財）セブンイレブン記念財団

〒102-8455 東京都千代田区二番町8-8

電話03-6238-3872 FAX03-3261-2513

<http://www.7midori.org>



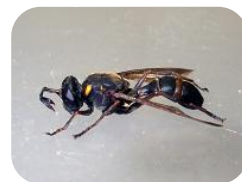
横須賀で最近発見された昆虫には、①もともと分布していたものの見つかっていなかった種、②分布を拡大している種、そして③人間活動によって運ばれた種に分けることができます。①は新しい採集方法や分類する技術の進歩によって新しく記録されたため（例：2010年に久里浜でスズメバチのトラップで捕獲されたハチモドキハナアブ）、②は主に分布を南から北へ広げている種が多く、既に定着が確認されている種（例：ナガサキアゲハ・ラミーカミキリ）や、周辺地域を足がかりに横須賀でも一時的に記録された種（例：天神島のアカマダラヨトウ、久里浜のチャイロスズメバチ）が挙げられます。そして、今回のテーマである③は、国内外を問わず横須賀地域外から運んできたことが疑われる種で、「外来種」として知られる種を含みます。

上記③の外来種は、人間が意図的に運んだ場合とそうでない場合に分かれ、前者はおもに飼っていた虫を逃がしたり放したりした場合（例：横須賀でも野外で時々外国産のカブトムシやクワガタが見つかることがあります）、後者はおもに人やモノの移動にまぎれて運ばれた場合として区別されます。クルマやバス・電車などで車内に虫が入り、そのまま一緒に「旅行」してしまったことはありませんか。交通や物流の発達はその機会を増やしていると考えられますが、多くは、園芸用の草木や腐葉土など、昆虫の餌や住みかになるものとともに運ばれた結果であることが知られています（例：横須賀では、2007年秋にヤシオオオサゾウムシ、2009年秋にクロマダラソテツシジミが初めて発生しました。ヤシオソテツと一緒に運ばれてきたことが原因と考えられています）。一方、珍しいケースとして、外国で暮らすシロアリやタマムシなどが木材などを住みかにして、その木材が家具などに加工されて日本へ輸入された後、乾燥に耐えて出てきたという「大旅行」も知られています。

人間活動によって昆虫が運ばれる場合、その昆虫本来の移動能力を大きく超えて運ばれてしまうことがあります。横須賀では、上の③の例で挙げた昆虫たちは、冬とともに姿を消してしまいました。しかし、暖冬のような年が続くとどうなるのでしょうか。こうした昆虫が、遠く離れた横須賀で新しく発生をくり返し、定着するかもしれません。したがって、博物館では横須賀で新しく発見された昆虫について、どのような経緯（冒頭の①～③）で新しく見つかったのか、もし運ばれてきてしまった昆虫（③）なら、冬を越えて再び見つかるのかなどを注意しながら観察しています。

（横須賀市自然・人文博物館 内船学芸員）

### ①見つかっていなかった種



ハチモドキハナアブ

### ②分布を拡大している種



ラミーカミキリ



アカマダラヨトウ

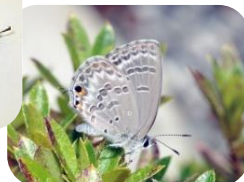


チャイロスズメバチ

### ③人間活動によって運ばれた種（外来種）



ヤシオオオサゾウムシ



クロマダラソテツシジミ

みなさまからのECOな情報も募集しています。

発行：横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力：横須賀市自然・人文博物館  
（発行元）〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課  
TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: [ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp)  
☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。（カラー版でご覧いただけます！）  
<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>  
この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。  
「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

